

令和7年度日進市要保護児童対策地域協議会代表者会議議事録要旨

日時	令和7年6月26日(木)午前2時30分から4時10分まで	
場所	日進市役所 4階 第3会議室	
出席委員	前田清	(愛知県中央児童・障害者相談センター長)
	古橋完美	(瀬戸保健所健康支援課長)
	長瀬和子	(愛知警察署生活安全課少年係長) 代理出席
	村瀬千恵	(民生委員・児童委員協議会主任児童委員部会代表)
	武弘和通	(市内児童養護施設代表)
	南千景	(日進私立幼稚園協会代表)
	伊藤龍仁	(日進市子どもの権利擁護委員代表)
	宇佐美律子	(日進市人権擁護委員代表)
	祖父江直文	(福祉部長・福祉事務所長)
	棚瀬浩三	(学校教育部長)
議長	與語隆弘	(健康こども部長) 11名
欠席委員	早河秀治	(はやかわ子どもクリニック 医師)
	宇佐美香津美	(日進市障害者相談支援センター長)
事務局	子育て支援課	4名(課長、室長、保健主任専門員、家庭相談員)
傍聴可否	可	傍聴有 1名

議長による開会宣言  
あいさつ 委員紹介

●議題等

(1) 令和6年度日進市要保護児童対策地域協議会事業実施状況報告について  
(事務局から報告)

- ・令和6年度要保護児童対策地域協議会事業実施状況
- ・虐待通告等受付件数
- ・虐待相談件数

【質疑等】

委員：ネットワーク会議の件数は管理件数か。かなり少ないのではないか。  
他市町ではどんどん増えて困っているくらいと聞く。

事務局：こども家庭センターを設置し母子保健分野の連携を強化、学齢期はSSWとの連携が深まり関係機関からの相談が増えた。各関係機関での支援も増えている。要対協管理するまでもないケースの相談も増えている。

委員：通告経路別件数のその他の内訳は何か。

事務局：児童委員1件と社協(くらしサポート窓口)2件

(2) 愛知県中央児童・障害者相談センターにおける虐待対応状況等について  
(中央児相から報告)

- ・ 県内の児童虐待の推移について
- ・ 中央児相管内市町別虐待件数について
- ・ 日進市の状況について
- ・ 死亡事例の検証等について

【質疑等】

委 員：要対協のケースは減少しているが、児相の件数は増加している。

この乖離の理由は何か。

児 相：関係機関で支援できれば要対協で管理するまででもない、という判断になったケースも多かった。

委 員：一時保護の件数で日進市の特徴はあるか

児 相：大きな特徴はないと思われる

(3) 愛知署管内の児童虐待対応状況等について

(愛知署からの報告)

- ・ 件数が高止まりしている印象は警察でもあるが、今後も組織の判断として夫婦喧嘩等軽微なものと思われるものも通告することとなる。
- ・ 近隣からの通告も増えている。
- ・ 警察は児相等とは違い、被疑者を極力特定して対応するスタンス。
- ・ 少年係は、虐待と共に非行関係も対応。6人で4自治体を担当している。

【質疑等】

無し

(4) 意見交換

各機関の状況報告及び情報提供等

午後4時10分 議長による閉会宣言